

服薬支援者の皆様

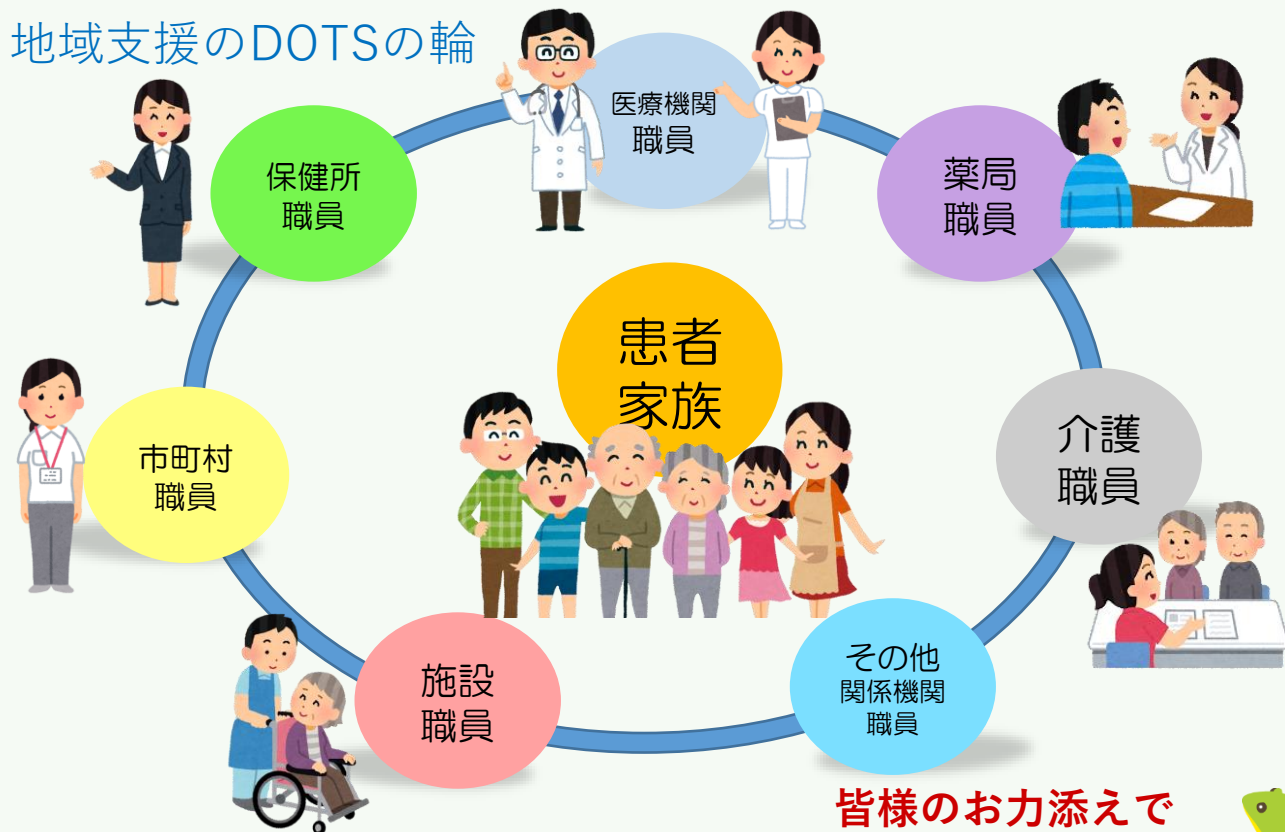
地域DOTSにご協力ください！！

地域DOTSとは

DOTSとは、Directly Observed Treatment Short courseの略で、「直接服薬確認療法」と言い、世界的に実施されている結核対策戦略の一つです。

結核と診断された方は、複数の薬を最低でも6～9ヶ月間飲み続ける必要があります。しかし、怠薬など不適切な内服によっては、結核の再発や薬の効かない「耐性菌」を作ってしまう可能性があります。保健所は結核患者が確実に服薬し治療を完遂するため、医療機関と連携をとりながら服薬支援をする役割があります。地域DOTSとは、退院後、外来通院中の結核患者に対して、地域の服薬支援者の皆様と保健所が連携してDOTSを実施することで、それにより、確実な治療完遂を目指します。

地域支援のDOTSの輪



皆様のお力添えで
結核は治ります！！

服薬支援者とは

病院・診療所看護師、薬剤師、市町村保健師のほか、訪問看護師、在宅介護支援センター職員、ヘルパー、入所施設職員、生活保護キーマン等福祉や介護関係機関の職員及び広く患者を支える周囲の方になります。

複数の地域支援者が関わる場合も考えられるので、保健所保健師はアセスメントを行った上で個別支援計画を作成し、円滑に服薬支援が実施できるよう調整を行います。

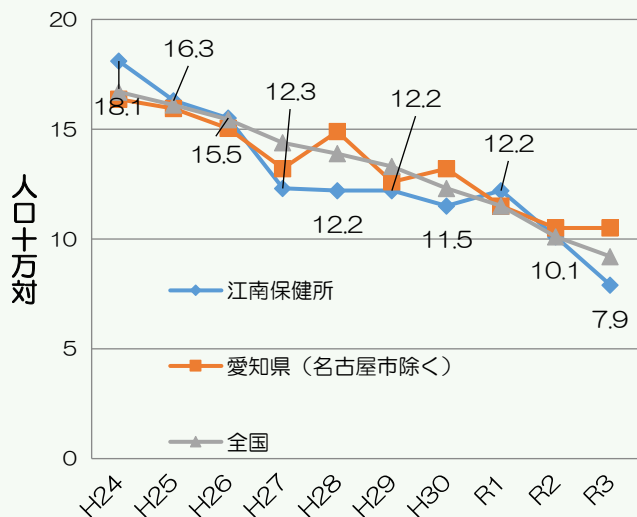
お問い合わせ先

江南保健所 健康支援課

TEL：0587-56-2157

FAX：0587-54-5422

罹患率の推移

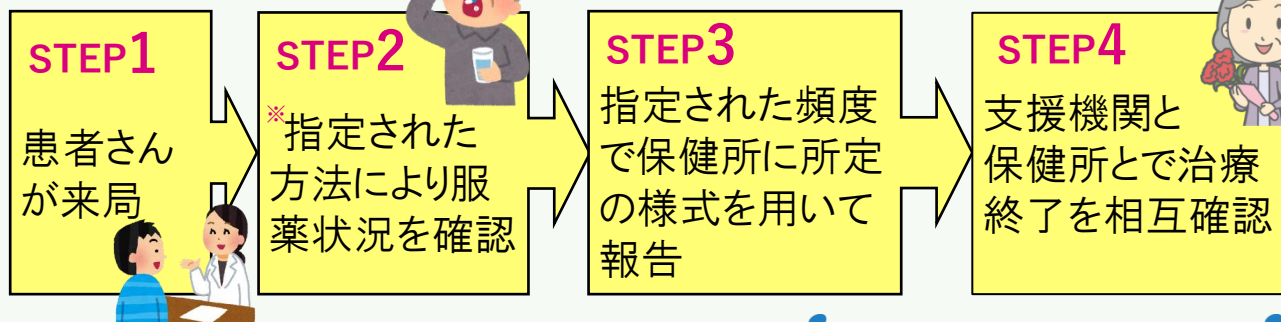


管内の発生状況

日本の結核発生患者数は年々減少傾向で、令和3年から世界の中では低蔓延国の位置づけです。

管内でも全国同様低蔓延国の水準となっていますが、高齢化が進み、70歳以上の患者が77%を占めています。

DOTSの流れ



※ 服薬確認方法

直接服薬確認：患者が内服するのを直接確認。

空袋：空袋、空のシートを確認して数が合っているか確認。

残薬：残薬の確認をして数が合っているか確認。

服薬手帳：服薬手帳を確認してサイン。

問題発生！
こんな時どうする？

- 患者が来ない！
- お薬を飲み間違えている！
- お薬を勝手に中断している！

保健所にすぐにご連絡ください！！

薬局でのDOTSのメリット

- 専門的知識を持つ薬剤師からの **適切なアドバイスを受ける**ことができる。
- 利用時間に幅があるなどの **利便性がある**。
- 薬の変更や副作用などについて、**タイムリーに保健所や主治医と連絡、情報共有が可能**。



地域DOTSにご協力ください！
皆様のお力添えで結核は治ります！

